

|  |  |                            |  |       |       |          |             |   |  |       |   |   |
|--|--|----------------------------|--|-------|-------|----------|-------------|---|--|-------|---|---|
| 授業<br>科目   | PA2K67   | 2単位                        | 選択   | 演習    | 2学年後期 | 担当<br>教員 | 教授 川田 公仁    |   |  |       |   |   |
|  | 教職実践演習   |                            |  |       |       |          | 准教授 小野崎 美奈子 |   |  |       |   |   |
| 授業の概要  | ① 幼稚園の教員として求められる知識や技能、経験を統合した学びを通して、創造的で広い視野に立った保育を可能にする。<br>② 子どもの理解や学級経営に関する事例研究等を通して、より質の高い実践力を養う。<br>③ 小集団による学びを通して、協力的、共同性を養うとともに、対人関係能力を高める。 |                            |  |       |       |          |             |   |  |       |   |   |
|  | 到達目標   |                            |  | 学習成果Ⅰ |       |          | 学習成果Ⅱ       |   |  | 学習成果Ⅲ |   |   |
|  |  |                            |  | ①     | ②     | ③        | ④           | ⑤ | ⑥  | ⑦     | ⑧ | ⑨ |
|  | 1. 自身が獲得した保育に関する知識や技能、経験を生かした学びができる。   |                            |  | ○     | ○     | ○        |             |   |  | ○     | ○ | ○ |
|  | 2. より効果的な保育のために必要な実務能力を身につけることができる。  |                            |  | ○     | ○     | ○        | ○           | ○ | ○  | ◎     | ◎ | ◎ |
| 3. 小集団において、協力的、主体的、創造的な取り組みができる。                                   |  |                            | ◎  | ◎     | ◎     |          |             |   |  |       |   |   |
| 4. 子どもや保護者の立場に立った、人間性豊かな保育者になろうという意欲がもてる。                          |  |                            |  |       |       | ◎        | ◎           | ◎ |  |       |   |   |
| 凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照 |  |                            |  |       |       |          |             |   |  |       |   |   |
|  | 主 題  | 準備学習                       | 本時の学習内容と到達目標   |       |       |          |             |   | 復 習                                      |       |   |   |
| 1, 2   | オリエンテーション  | シラバスに目を通しておく。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の内容について、概要を把握する。</li> <li>保育者の適性、社会人としての基本要素について理解する。</li> </ul>                                  |       |       |          |             |   | 今後の学びの見通しを立てる。<br>保育者として、社会的責任の重要性を認識する。 |       |   |   |
| 3, 4   | 事例研究 (1)   | これまでの実習日誌を確認しておく。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職の意義、役割について理解する。</li> <li>実習で使用する教材を検討する。</li> </ul>   |       |       |          |             |   | 指導目標の適正を考察する。                            |       |   |   |
| 5, 6   | 事例研究 (2)   | 指導の合理性を検討しておく。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに対する責務、寄り添い方について理解する。</li> <li>子どもたちの反応を考慮した教材をつくる。</li> </ul>                                   |       |       |          |             |   | 実際の子どもの動きを想定し、指導手順を確認する。                 |       |   |   |
| 7, 8   | 研究成果発表   | 発表内容の確認をしておく。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した教材をロールプレイングにより発表する。</li> <li>討議内容をもとに成果と今後の課題をまとめる。</li> </ul>                                  |       |       |          |             |   | 問題点、改善点をまとめる。                            |       |   |   |
| 9, 10  | 講義・演習  | これまでの実習日誌の気づきを確認しておく。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの日々の記録の方法を理解し、視聴覚教材をもとに記録を取る。</li> <li>記録をもとにグループ討論を行う。</li> </ul>                               |       |       |          |             |   | 問題点、改善点をまとめる。                            |       |   |   |
| 11, 12   | 実践事例研究 (1)   | 実習日誌や日々の記録等の子どもの記録を確認しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳の内容と作成意義を理解する。</li> <li>事例をもとに連絡帳を作成する。</li> </ul>   |       |       |          |             |   | 必須事項、注意事項を確認する。                          |       |   |   |
| 13, 14   | 実践事例研究 (2)   | 保護者の思いについて考察しておく。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳の内容に基づき、保護者対応のロールプレイングを行う。</li> <li>グループ討論により、改善目標をまとめる。</li> </ul>                              |       |       |          |             |   | 問題点、改善点をまとめる。                            |       |   |   |
| 15, 16   | 実践事例研究 (3)   | 計画する行事を決めておく。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>行事計画を作成する。式典等の運営を理解する。</li> <li>学級だよりを作成し、グループ討論を行う。</li> </ul>                                     |       |       |          |             |   | 問題点、改善点をまとめる。                            |       |   |   |
| 17, 18   | グループセミナー (1)   | 関係資料を収集しておく。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>園の年間計画 (運営) について検討し、討議する。</li> <li>園の教育方針を編成し、学級経営について理解する。</li> <li>グループ内のメンバー相互の理解を図る。</li> </ul> |       |       |          |             |   | 教育目標に基づく、日々の業務を考察する。                     |       |   |   |
| 19, 20   | グループセミナー (2)   | 関係資料を収集しておく。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>園の年間計画 (運営) について検討し、討議する。</li> <li>保育の多様性と家庭や地域との連携について理解する。</li> </ul>                             |       |       |          |             |   | 教育目標に基づく、日々の業務を考察する。                     |       |   |   |

|                               |  |                                    |   |                              |
|-------------------------------|--|------------------------------------|---|------------------------------|
| 21, 22                        | グループセミナー (3)   | 関係資料を収集しておく。                       | ・園の年間計画 (運営) について検討し、討議する。                                    | 保育者の業務内容全体を確認する。             |
| 23, 24                        | 研究成果発表   | 発表内容の確認をしておく。                      | ・研究内容をグループ発表し、討議する。<br>・成果と今後の課題をまとめる。                        | 問題点、改善点をまとめる。                |
| 25, 26                        | 実践事例研究 (4)   | 5領域および幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の内容を確認しておく。 | ・指導要録の内容と作成意義を理解する<br>・5領域および幼児期の終わりまでに育ってほしい姿に基づき、指導要録を作成する。 | 必須事項、注意事項を確認する。              |
| 27, 28                        | 研究成果まとめ  | これまでの教職科目をシラバスにより確認しておく。           | ・教職科目を振り返り、学びの内容についてまとめる。<br>・自身の教職実践の取り組みについて省察する。           | 問題点、改善点をまとめる。                |
| 29, 30                        | 研究成果発表   | これまでの保育実践を各資料等により確認しておく。           | ・保育者としての適性について自己評価を行い、今後の課題をまとめ発表する。                          | 実践力のある保育者として、向上していく意志を再確認する。 |
| 成績<br>評価                      | 講義への取り組み (態度、ノート、提出物等) (70%) 期末試験 (30%) 合計 100%  |                                    |   |                              |
| 教員<br>からの<br>コ<br>メ<br>ン<br>ト | この教職実践演習は、幼稚園教諭二種免許状を取得する際の必修科目となります。受講する皆さんの主体性、創造性、協力がポイントになります。保育者としてのより高い実践力を身につけ、自信をもって子どもや保護者に対応し、一人ひとりの子どもの健やかな育ちに大きくかかわれるようになってほしいと願っています。 |                                    |   |                              |
| 教科書                           | 書名<br>著者<br>発行所  | 推薦<br>図書                           | 書名 幼稚園教育要領解説<br>著者 文部科学省<br>発行所 フレーベル館                        |                              |